

プラットフォーム：環境
乗客：農・医・生命科学
行先：健体康心・幸福・
夢の実現

健体康心

農医連携には 環境というプラットフォームが必要

- 近代科学は心を扱わないし、ブレーキ装置がない。
- 心とは、個が環境と干渉しあうことから生まれる「情報の塊り」で、主体と客体との間に相互作用がある。
- したがって、環境が劣化すれば人の心も劣化する。
- 環境は人びとの健康のために守るべきものである。
- 環境を通して、農と医の技術知と生態知を連携し、健康のための統合知を創出する必要がある。
- 次に癒しやスピリチャリティーの問題が残る。

北里大学学長通信 2011.1.1

情報：農と環境と医療 59号

● 新しい年を迎えて、平成23（2011）年元旦
 ● 北里大学環境健康と医療委員会が開設
 ● 第5回北里大学農医連携シンポジウムの開催
 ● 農と環境と医療、アミダ・タイ、日本の国
 ● Agropolis を読む（18） Journal of Agropolis
 ● 資料の紹介 14、農医学教育課程への農医学の取り込み（オーストラリアの国）
 ● 資料の紹介 15、「環境・農と環境と医療」に掲載した最新の報告
 ● 資料の紹介 18、2008年度 北里大学医学部北海道八雲教員研修報告
 ● 本の紹介 19、農業動物のジーンマーカーある1つの食卓の自然史（上・下）
 ● サイタル・ローラン著、ラセル著訳、東京経済書局（2009）

新しい年を迎えて：平成23（2011）年元旦

大和には 野山あれど とりよらふ 文の香風出 壺り立ち 国風をすれば
 国風は 穂立ち空つ 海邊は 鶴立ち空つ
 鳥し国を 頼朝哉 大和の国は 一方葉集：長閑天竺一

新（あらた）しき 年の初めの 初夢の
 今日始まるの いや願（し）け 古事（よごと） 一方葉集：大伴家持一

新年には、言葉集にある野間天竺と大伴家持の歌が胸を過ぎります。大伴家持の「古事」の一
 つに、おが日本人が守り続けてきたことがあります。この心と野間天竺の「美し国」が、わが
 国から人の意識にも根付く、時空を超えて伝承されることを祈願します。もう一つは、昔懐
 びとりに親しみしるの事である古事です。この年にも訪れるであろうことを祈願し新年
 の挨拶といたします。以下にこの年への思いを添えます。

北里大学では「農医連携」なる概念を新たな学域として発信しています。北里大学学長通信
 「環境・農と環境と医療」はこれに際して創設で、平成17（2005）年5月から発行し続けてい
 ます。今年で5号に達しました。そこで、編集について書いてみます。

ターゲットに拡張された学長通信は、伊藤教授に執筆報告をします。「ターゲットには科学と
 いうものがあります」「科学とは何であるか」「科学とは誰がであります」「あいわかった」、
 哲学者との会話は、かかあるものと感心した記憶があります。雑誌・読者という観点から
 かかあったと聞いて、内容は特約ながら、この「環境・農と環境と医療」も5年と半年の歳月
 が経過しました。

これまで集めてきた農医連携にかかわる教育、研究および普及などについて振り返り、今年
 も新たな思いで、国産・学際・地産・産物の視点から学域を拡充させていかなければなりませ
 ぬ。そこで期成に立ち向って、次の発展の教文を今一度整理して、今後の農医連携のあり方を
 考えてみることにします。

北里大学農医連携 教育センターHP

情報：農と環境と医療 No.1～No.67

第5回北里大学農医連携シンポジウム









地球温暖化：
農と環境と健康に及ぼす影響評価とその対策・適応技術

北里大学ホームページ

ログイン名: Guest

8 プレゼンテーションのうち 1 から 8 を表示中

1 / 1

<p>開会にあたって プレゼンター: 北里大学学長 柴 忠義 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 3分 32秒</p>	 <p>IPCC報告書の流れとわが国の温暖化現象 プレゼンター: 北里大学教授 陽 捷行 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 42分 30秒</p>	
<p>温暖化による陸域生態系の影響評価と適応技術 プレゼンター: 筑波大学大学院生命環境科学科教授 林 陽生 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 40分 56秒</p>	 <p>農業生態系における温室効果ガス発生量の評価と制御技術の開発 プレゼンター: (株)農業環境技術研究所物質循環研究補佐上席研究員 八木 一 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 48分 49秒</p>	
<p>気候変動による感染症を中心とした健康影響 プレゼンター: 東北大学大学院医学系研究科教授 押谷 仁 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 40分 6秒</p>	 <p>IPCCの今 プレゼンター: 宮城大学国際センター准教授 あん・まくだなるど 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 40分 18秒</p>	
<p>気候変動の影響・適応と緩和策 - 統合報告書の知見 - プレゼンター: (株)国立環境研究所社会環境システム研究補佐長 原沢 英夫 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 36分 41秒</p>	 <p>総合討論 プレゼンター: 司会 林 陽生・陽 捷行 状態: 利用可能 配信日: 2008/04/01 長さ: 37分 10秒</p>	

ページが表示されました

インターネット

スタート | 北里大学教育情報 | 農医連携センター | Internet Explorer | 学生調査(移行中)